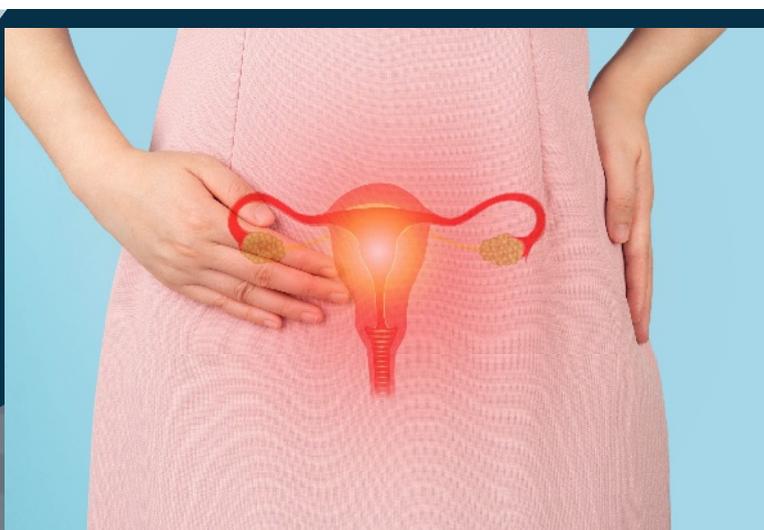
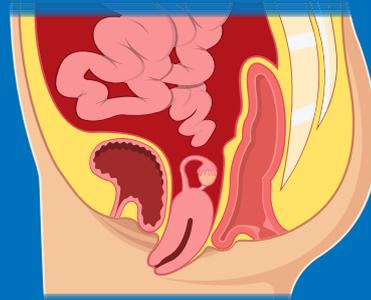


# 骨盤臓器脱 当科における 治療について

手術ありきではなく  
個々の患者様  
のご希望に沿った  
治療を提供します



Pelvic Organ Prolapse



## 骨盤臓器脱について

骨盤臓器脱とは、骨盤内の子宮、膀胱、尿道、小腸、直腸などの臓器を支える筋肉や靭帯が弱くなることで、それらの臓器が降りてきてしまう病気です。

欧米の研究報告によれば、出産（経膣分娩）を経験した女性の3～4割程度に骨盤臓器脱が認められ、また約1割の女性が80歳になるまでに骨盤臓器脱または尿失禁に対する手術を受けるとされています。

決して珍しい病気ではなく比較的ありふれた病気なのです。

## こんな症状ありませんか？



「膣にピンポン玉のような物を何か触れる」  
「トイレに行ってもすっきりしない」  
「夕方になると違和感や異物感が強くなる」  
「すわると何かが入る感じ」

症状はあるのだけど恥ずかしくて、なかなか周囲の人に相談したり、病院を受診することができなく悩んでしまうという方は多いと思います。

そういった方々の悩みを少しでも解消し、生活の質を向上し楽しい人生を過ごすことができたく、当科でも診療させていただいております。

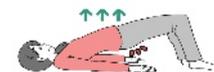


## 当科できる治療について

### 骨盤底筋体操



専門のスタッフが  
わかりやすく指導いたします  
継続が大事です



### リング(ペッサリー)



さまざまな形状のリングがあり、患者様に合ったリング  
を見つけていきます。  
必要な時だけ使用する自己着脱指導も行っています。

### 手術療法



膣式手術  
腹腔鏡手術  
腹腔鏡と膣式のハイブリッド手術 など

### サポート下着(フェミクッション)

リングが合わなくてもサポートできることもあります

### 薬物療法

骨盤臓器脱に伴う症状、過活動性膀胱などに対して症状  
改善のために薬剤を使用することもあります

### レーザー療法

尿失禁や骨盤臓器脱に対してレーザー治療を行います。  
連携病院に紹介し、治療を行うことが可能です(自費診療)

